

平成18年12月12日（火）

○議長（上田順康君）順番13、18番 妙中君。

〔18番（妙中嘉三君）登壇〕

○18番（妙中嘉三君）議長のお許しを得たので、演壇より質問いたします。私は3点の質問があるんですけども、3点目は事情により質問を取りやめます。

1番目、出張所存続に関する住民要望について。もとより役所は住民サービスセンターであり、住民票などの交付や何かの申請手続きを行うだけのところではありません。今回の合併でも合理的経営は必要であります、むしろこれまでの無駄を省き、浮いたお金を生かして、より充実した行政サービスを行うことが目的の大きな柱であります。私もこの合併はそうした住民サービス向上が基本であり、そのため、いかに無駄を省き、どう改革するのかを基本理念にし、その後の市当局の姿勢をただしてきました。

このような中で、今、高野口町役場にかわる出張所の存続とサービスセンターとしてのあり方が大きく問われています。私のところへも、出張所を残してほしい、お年寄りなどが身近で相談できる場所が欲しい、触れ合いのあるもっと心のこもった行政サービスが欲しい、公民館になっても役場の機能をもっと残してほしいなど、要望がたくさん寄せられています。特に少子・高齢化が一段と進む高野口町の中で、そうした切実な声が増しに高まっている気がします。ついては、そのような住民サービスが身近に受けられるようなセンターがどうしても必要です。現在の高野口出張所のあり方をどう考えているのかお聞きいたします。合併協議の中では、総合的な公民館のようなものが新しく建設されるようですが、行政が一方的に計画した単なる箱も

のでなく、少なくとも次のことを考え、いろんな意見を取り入れて計画していただきたいと思いますが、当局のお考えをお示してください。

一つ、お年寄りなどが気軽に相談し利用できるコミュニティセンターのようなもの。一つ、一部有力者の声でなく、広く住民の意見を取り入れ地域に喜ばれる施設。一つ、将来の経済効果が期待できる施設。その他、旧役場を補完したサービスセンターです。

次に、広域ごみ処理施設建設についてお聞きします。広域ごみ処理場建設は、大変重要な問題であるとともに、長年の懸案事項であります。特に現焼却場の地元住民との約束事であり、平成21年4月稼働に向けてどうしてもやり遂げなくてはならない、本市にとっては最重要事業であることは私も承知しております。私はかつて、これまでの高野口に建設されることになった経過など、幾つかの問題について私なりに厳しく指摘し、改善を求めてきましたが、その後、当時一番問題となっていた焼却炉が熔融方式からストーカー方式になるなど、幾つかの問題点を残しながらも改善されてきたことも事実であります。特に生ごみの堆肥化やごみのさらなる分別・減量など、今後も引き続き改善すべき問題はありますが、これについても以前と同様に改善を求めていかねばならないと思っております。

一方、依然として建設に対する不信感を持つ一部市民もおります。しかしながら、現焼却場を抱えた地元が、新施設ができるのであれば、1日も早く撤去してほしいと言われており、また、大多数の市民が早く建設してほしいと言われるなどを考慮すれば、私は期限内に建設しなくてはならないと強く思うとこ

ろであります。これらを踏まえて市長のお考え、建設に対する決意をお聞かせください。

以上、壇上よりの質問を終わります。

○議長（上田順康君）18番 妙中君の一般質問に対する答弁を求めます。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）妙中議員のおただしの件についてお答えをいたします。

ごみ処理施設の建設は、市民の日常生活に直結するものであり、関係する市町のごみ処理の現状を考えると、早急に解決しなければならない最重要課題と認識しております。このことにつきまして全力を注いでおるところであります。循環型社会のまちづくりが叫ばれる中、単にごみ処理施設を建設するのではなく、限りある資源をいかに大切に扱うか、いかにごみを出さないように努めるかという時代に即応した取り組みを行うことが実に大切であると考えております。

このことについては、市民の方々からもさまざまなご意見をいただいております。その一つが、ごみをごみとしてではなく、資源という発想に立ち、有効利用していくことであります。現在、橋本市では橋本市衛生自治会などを通じて、ごみの堆肥化事業やごみ処理機の利用などにより、ごみの減量化、資源化に積極的に取り組んでおるのが実情であります。また、家庭におけるごみの減量の啓発活動として、花と緑のリサイクル事業を展開いたしております。ごみの堆肥利用によってきれいに咲いた花々を見ていただくことで、ごみの減量と再利用などに対する意識が地域の中で高まってくれればと願っておるところであります。

私は、家庭から排出される多量の生ごみを減らすためには、行政のみならず、住民の方々や企業のご協力をいただき、官民一体となっ

た取り組みが必要不可欠であると思っております。各家庭による日頃からの取り組みが大変重要であり、市民の方々に呼びかけ、身近なことからだれにでもできることから参加を促し、小さな集団活動の積み上げと各組織と連携の強化を図り、意識改革の推進を図ることが実に大切であると考えております。このことから生ごみ堆肥利用による花と緑のリサイクル事業に大勢のボランティアの方々が参加いただき、生ごみの自家処理の推進と、この橋本市が自然環境の豊かな住み良い拠点地域となるよう努力していることは大変重要なことでございまして、ご参加いただいている皆さまに感謝しておる次第であります。

なお、議員おただしの平成21年4月のごみ処理施設稼働については、行程的には本当に厳しい状況にあるのは事実でございます。過日も県の都市計画課のほうへも参りまして、できるだけ県の審査のスムーズにまいりますようお願いをした次第であります。行程的には厳しい状況ではありますが、最大限の努力をして施設の建設に積極的に取り組む所存でございますので、議員の皆さま方にはより一層のご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

私の当面のごみの減量につきましては、この21年3月末までの約2カ年有余の間に、旧橋本のクリーンセンター、高野口のクリーンセンター、合わせて10億800万円のごみの処理にかかっておるといふ、このことに原点に立って、3割以上は稼働するまでに減らしてまいりたい。このことについては住民の皆さんのご理解もいただかなければ進まないわけがありますけれども、そういう体制をつくりながら、ひとつ目標に向けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくようお願いを申し上げたいと思っております。

なお、残余の件につきましては、担当参与

よりお答えをいたします。

○議長（上田順康君）企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君）高野口出張所の存続についてでございますが、ご存じのとおり、橋本市・高野口町合併協議会において、合併後1年をめどに廃止し、それまでの間は新市の出張所とすることが確認されています。また、新市まちづくり計画においては、合併後1年間をめどに出張所を廃止することとなる高野口町役場跡は、著しく住民サービスが低下しないように、地区公民館に福祉関連機能を兼ね備えた複合施設として整備し、地域住民の文化・福祉向上のため活用するとともに、あわせて証明書発行の自動交付機を設置し、住民の利便性に配慮した行政サービスの向上に努めますとしており、現在、高野口交流センターと位置づけ計画を進めております。

高野口出張所の廃止については、現時点では決定しておりませんが、高野口交流センターの建設が前提となります。この進捗状況についてですが、本年6月に実施設計を発注し取りかかっているところです。今後のスケジュールにつきましては、年明けた来年3月頃に北別館及び旧保健所を解体する予定となっています。その跡地に7月頃から交流センターの建設に着手し、平成20年2月頃に完成の予定です。このことから、高野口出張所の廃止については、今後の事業の進捗を見ながら決定してまいりたいと考えております。

次に、議員ご要望の整備計画にあたっては、お年寄りなどが気軽に相談したり利用できるコミュニティセンター、一部有力者の声でなく、広く住民の意見を取り入れ、地域に喜ばれる施設、将来の経済効果が期待できる施設、その他旧役場を補完したサービスセンターなど、いろんな意見を取り入れて計画していただきたいとのことについてでございますが、

施設の整備内容等については、教育委員会生涯学習課が担当課となって進めております。今日までその内容については、高野口地区公民館の利用者をはじめ橋本市身体障害者連盟の役員の方々からご意見をお伺いするとともに、橋本市公民館運営審議会、高野口地区公民館運営委員会におきましてもご協議いただきました。また、関係各部課長で構成される庁内検討委員会においても協議を行うなど、できるだけ多くの方々のご意見を反映いたしたいと考えて取り組んでまいりました。なお、この件につきましては、今後も引き続き十分検討しながら進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（上田順康君）18番 妙中君、再質問ありますか。

18番 妙中君。

○18番（妙中嘉三君）ご回答いただいたんですけど、まず出張所についてお尋ねしたいと思います。部長のお話では、公民館の設計が発注されたということですが、設計図はできているんですか。できていたら教えてほしいと思います。

○議長（上田順康君）教育次長。

○教育次長（岸田茂利君）お答えします。先ほど企画部長からご答弁ありましたように、各種団体、それから庁内の課長・部長会で検討いたしましたプランが決まりまして、今、それに基づいて詳細設計にかかっているところでございます。

○議長（上田順康君）18番 妙中君。

○18番（妙中嘉三君）ということではできているということですね。決まったものではないが、だいたいどういうものをつくるかということではできておるといえることですか。わかりました。

旧高野口住民にとっては大変切実な願いな

んですよ。本当をいえば、高野口の住民は大変行政サービスも落ちているんです。先ほども質問させてもうたんですけども、私のところに毎日毎日大変な要望が来ています。住民サービスが落ちておると、年寄りには冷たいと。一部地域の人が言うてるんじゃないんですよ。高野口住民全域の人が言ってるんです。だから、もしできてるんであれば、僕が言うたような経済効果があるような入れ物とか、年寄りが自由に出入りできるようなものか、そういうものかということをおかれれば教えてほしい。それで、できれば約束と同じようなものか、また新たに後に高野口の住民が役場の機能を起こしてほしいという署名運動も、そういう請願も上がっているはずですよ。そんな中で皆さんどういうふうにとらえておるのか。少なくとも閉鎖はするんですけども、公民館に市の職員を1人でも2人でも常駐させて、年いった人が多くなっているの、そういう話を聞くつもりはあるかないかということもあわせて教えてください。

○議長（上田順康君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）ということで、プランができていく段階で、私どもとまだ綿密な調整とか外へ出す段取りの話もしてませんが、近々全部発表していくような状態という考えでございます。そういうことで、職員体制とか活用方法も含めまして、これは今これから検討するような状態でございます。

以上でございます。

○議長（上田順康君）18番 妙中君。

○18番（妙中嘉三君）だったら教育次長でも結構です。僕たちは向こうの議会で約束させられたことは、立派なふるもつくるしというような話やったんです。ふるはどうかと思うんですけど、結局経済効果のあるものですね。例えて言うたら、経済効果のある施設ですね。商工会とか社協とかシルバー人材センターと

か織物組合とか、そういうものを集積したような施設になるんですか。だいたいアウトラインができていたんだしたら教えてください。できないものならできないとはっきり言うて教えてください。あきらめもつきますから。僕はあきらめませんがね。

○議長（上田順康君）教育次長。

○教育次長（岸田茂利君）ただ今、妙中議員からお示しいただいた経済効果が期待できるものとして、シルバー人材センターであるとか社協、あるいは商工会等を包含した計画になっているかとおただしですが、そういった施設は今のところは計画には入れておりません。

○議長（上田順康君）18番 妙中君。

○18番（妙中嘉三君）わかりました。

続いてごみ処理場について再度市長にお伺いします。これは大変重要な問題でございます。僕は以前、大反対だったんですけども、経過が悪くて大反対です。ごみ処理場はつくらなくてはならないということは僕も意識しております。そんな中で橋本市はオープンな形でごみ処理場建設に向けて一生懸命に頑張っておられるということはよくわかっております。そんな中で市長は、万難を排して不退転の決意で平成21年の3月に開設するというのを、市の幹部とともにこの建設に向けて一生懸命にやるという決意をもう一度示してください。

○議長（上田順康君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）ただ今の決意のほどを示しなさいということでございますが、私が広域組合の管理者ということもあるものですから、管理者の会は、最近には月に2回ぐらいは、もう3時から5時からということで会議を開いておるわけでございますが、一刻の猶予もならんということでございます。したが

いまして、これから都市計画審議会の議を得て、いよいよ本格的に入るわけでありますので、これよりも1日たりとも遅なすというわけにはまいりません。もう目いっぱいあります。理想論を言いますと、私は常々担当者に申し上げておるのは、20年の12月末には完成すべきだということが基本論です。そして3カ月の試運転期間、これが3月の末には間違いなく引き渡しと、これが理想的なスケジュールですよ。それが今ではもうそういうことにならないんですね。これも議員の皆さん、認識していただきますよ。私はもう全部両クリーンセンターは持ち出すと、特に隅田で申し上げとるんですけども、そういうことでひとつ執行者、広域組合、そして議会の皆さん、これは周知をしてもらって一つになっていたで、これは橋本市の市議会だけ一つではいけません。九度山、高野、かつらぎ、これが一つになって、ひとつ善処方をいただき、めでたく21年の4月1日に稼働ということ、その目標に向かって邁進の前進をしてまいりたいと思いますので、よろしくひとつお力添えをいただきたく存じます。

以上でございます。

○議長（上田順康君）18番 妙中君。

○18番（妙中嘉三君）ありがとうございます。質問を終わります。

○議長（上田順康君）これをもって、18番 妙中君の一般質問は終わりました。